



大地

令和5年5月号

校長 指崎 邦久

新緑が目鮮やかな季節になりました。グラウンドを吹く風も、さわやかに頬を撫でていきます。

新年度が始まり1か月が過ぎました。登校時に、下級生に合わせながら長い道のりを歩いてくる上級生の姿が印象に残っています。集団登校の終わりの挨拶の後、下級生に一声かけて学年の玄関へ送り出す姿も見られます。教室では、友達が上手にできるように心配そうな表情で見守り、そっと手助けをする様子がどの学年でも見られます。窪っ子の優しさをしみじみと感じています。

先日行いました学習参観、育友会総会、学級・学年懇談会へは、日曜日にもかかわらず多数ご参加いただきありがとうございます。教職員と保護者の皆さんが、直接顔を合わせて、声を聞けたことは、子供の成長を共に支えていく中で、意味のある機会であったと思っています。今後も、情報を交換しながら、子供の頑張りや不安を支えていきたいと思っています。今月も、教育活動にご協力をいただきますようお願いいたします。



運動会について

今年度の運動会は、全校児童が集まって行います。いろいろな学年の子供が、目標に向かって頑張る姿を見て、応援し、自分も頑張ることを期待します。

これから、児童会を中心として、運動会への機運を盛り上げていきます。運動会の練習を通して、体力をつけることはもちろん、体をイメージ通り動かす力や、話を正確に聞き取り行動に移す力を育てたいと思っています。

最近、気候が不安定で気温の変動が予想されます。子供は、大人が思っているよりも疲れやすい面があり、粘り強い面もあります。ご家庭に置かれましては、睡眠の確保とバランスの取れた食事にご配慮いただき、子供が運動会へ向けて十分に力を発揮し、困難を乗り越えて成長していく手助けをしていただきますようお願いいたします。

なお、当日は、感染状況に大きな変化が見られない限り、来場制限にご協力いただく予定はございません。多数の来場者が予想されます。互いに譲り合って、みんなが楽しめる運動会になりますようにご協力ください。



新聞記事に思うこと

4月30日の北日本新聞に、睡眠と読書に関する記事が載っていました。

睡眠について

大阪府堺市の教育委員会では、「みんなく」と名付けて睡眠教育を展開しているそうです。ある中学校では、睡眠教育を推進したことで不登校の生徒が35名から16名に半減したそうです。不登校の生徒は共通して睡眠が乱れていたそうです。スマートフォンやパソコン等を寝る1時間前までに使わないと家庭でルールを決めたり、就寝・起床や食事の時間を一定にしたり、スマートホンの使用を控えその日の出来事を家族で話し合ったりしたそうです。このような取組を知っておくことは、不登校の予防だけでなく、ICT機器を適切に活用する力を身に付けることにつながると思います。



ゴールデンウィークは、たくさんの時間があります。休みが明けたときに、子供が元気に登校できるように、生活のリズムを整えるために力を貸してやってください。

読書について

4月23日から5月12日の期間は「子どもの読書週間」だそうです。「読書を楽しむためには、内容を理解するための知識や経験、直観力等が必要だ」「読書を楽しむようになった子は次々と読書を重ね、世界を広げていく。読書の楽しみにたどり着けない子は他の楽しみに時間を割くようになる」とありました。また、「激しく変化する音と映像の刺激がないと、物足りないと思う人が増えている」とも書かれていました。学校では、子供が読書の楽しさに触れられるように国語の学習を始め、いろいろなところで努力していきます。読書をしていればそれでよしというわけではありませんが、ICT機器だけでなく、読書や運動、いろいろな時間の過ごし方ができるようになってもらいたいと思っています。



新型コロナウイルス感染症について

5月8日から、新型コロナウイルス感染症が5類に位置付けられます。学校では、今日配信しましたお知らせのように対応していきます。ご理解いただきますようお願いいたします。

また、5類に位置付けられたとはいえ新型コロナウイルスが流行しますと教育活動に大きな影響を与えてしまいます。学校では、引き続き感染が広がらないように留意していきます。ご家庭に置かれましても、子供の健康管理にご配慮いただきますようお願いいたします。